



特定非営利活動法人

平成 18 年夏号 NO.30



<http://nepai-mika.jp>

[mika@ssr.co.jp](mailto:mika@ssr.co.jp)

# ネパール・ミカノ会

平成 18 年 7 月 15 日発行 194-0035 東京都町田市忠生 2-5-36 tel042-791-0602



## “十周年、お礼とお願い”

N.P.O 法人ネパール・ミカノ会

理事長 齋藤 謹也

あっという間に十年を経過しました。ネパールは政情不安もあり、また世界最貧国の現状もあって、さまざまな心配をおかけしながら、ご協力をいただいて今日に来ておりますが、何となくネパールが子供と同じように思え、「心配させる子ほど可愛い」と途中とだえることなく支援を続けさせていただいておる事に感謝し、振り返れば十年という歳月が過ぎたところです。

無我夢中で教育支援をささやかにやってまいりましたが、区切りの年にあたって、改めて立ち止まってこの十年の事、今後の十年の事を考えているところです。共に足並みを揃えて前へ前へと歩んできた会員の皆様にも、それぞれ考えるところがあるのではないかと思います。

私は今日、思い起こしているのは次の問答です。  
あるお坊さんが問うたのです。

「如何なるか仏法の大意」（一番大切なことは何ですか？）

それに対して答えられるに

「茶を点ずるには、須く、是れ、百沸の湯なるべし」

（お茶を入れる時には、まずお湯を十分に煮沸させなければならない）

季節によって、相手によって一酌の水を足して、適時な熱さを工夫して入れ、湯加減をしながら出します。まず、沸かしたお湯をぬるくするなり、熱いのをいれるなりするのです。その百沸の湯が、心がけの第一歩となります。

これはお茶だけの話でなく、何か物事をなす場合の全ての行いに適する事です。まず、条件を整え、そこに細やかな心配りをなして行われているかどうか。いい加減に私たちの生活の中で行われている実践や行為について問われなければなりません。そして基本となる「百沸の湯」。条件だけが整っていても駄目であり、なそうとする意欲、意思をたぎらして、はじめて事がなされるのです。

自分の立ち向かう行いに対して、自分の命を燃やしているかが問われます。

「あなたは何か物事をなそうとする時、その条件、準備に十分な心配りをしていますか。その為に自己の命を燃焼させていますか」

「ネパールの子らの瞳にひかれて、私達の出来る事を最大限の努力を惜まず、初期の頃はやっていたなあ」と思います。しかし、最近は少し生煮えのお湯でお茶を立てていたのではないかと、と自己を顧みて反省する事がしきりです。もう一度百沸の湯をわかす必要があるかなと個人的には考えています。

ところで、よく回答の意味がわからなかったその坊さんはもう一度問い直します。

「意旨、如何」（それはどういうわけですか。）



答えて曰く

「契に尽くして滓を留めることを莫れ」（たてられたお茶はちゃんと飲んで、カスを残しちゃいけないよ）作られたもの、行ったこと、実践された事柄をどう受け取り、どう向い合ったらよいのでしょうか。

湯の沸かし方がたりなくなっているのではないかと、個々人の命の燃焼のないまま、喜びのないまま、感謝や使用する喜びの無いままに、作り出すのが慣れとなって支援をやっているのではないですかということが問われます。

お茶碗の中のカスをお湯をいれて洗い、全て飲み干してしまう。カスを残さない。自分の心にある残りカスが全くないようにする為には、常に完全燃焼させていかなければなりません。

「百沸の湯」がわいているかどうか、しっかり点検吟味しながら次に向かって進んで行きましょう。

十年の区切りにあたって定型の挨拶文ではなく、所感を述べさせて頂きましたが、多くの協力者（井戸を共に掘った人々）に感謝し、今後ともよろしく願い申し上げます。

さあ、喜びをもって、国際ボランティアにうちこんでいきましょう。それぞれの分に応じて悔いを残すことなく。



## 「10周年記念式典開催迫る」

実行委員長： 今村 旭

ネパール・ミカの会が誕生して早くも9年が経ちました。1997年、ルンビニのマホマディア小学校の雨漏り校舎の補修をした第一次教育支援の旅から歩み始めて、以後、年々着実に成果を上げ、NGOからNPOへと発展して現在は個人正会員と賛助会員を合わせ170名に達する会員を擁する大きな立派な会に成長しました。多くの熱意ある会員の、日頃の活動実績から生まれた素晴らしい結果です。

そこで、更なる飛躍と向上を目指して過去の歴史を振り返り、これからの会のあるべき姿を描くべく、創立10周年記念式典を企画した次第です。昨秋より検討を重ねて現在、実行委員会を立ち上げて鋭意準備中です。追って詳細はご案内いたしますが、会員の皆様にはぜひこの会に参加していただき、10周年を迎えられた喜びを共に分かち合いたいと切に願うところであります。

特に、このところ足の遠のいた会員の方はこの際、一步踏み出して皆に顔を見せて下さい。(仲間はみんな、楽しく再会するのを待っていますよ!!)

去る5月21日に町田市民ホールでの会議室に於いて、定期総会が行われましたが、当会の現地スタッフであり又理事でもある、ヌルブ・ラマ氏が恒例のごとく、遙々ネパールから総会に出席すべく、来日しました。ミカの会のこれまでの活動を現地で支えて下さったラマ氏なくしての10周年は有り得ないということで、再び8月の式典に出席するため、招聘が決定いたしました。

この式典は、単なる儀礼に留まらず、これからの会員各位の国際協力を通してのご自身の意義ある人生の目標を再確認するよい機会となるような心のこもった会になりますことを願っております。ぜひ、盛会裡に行える様、重ねて皆様の参加を期待します。

### 記

開催日時：平成18年8月27日(日)午後1:30開会  
会場：原町田 ぱ・る・るプラザ町田 6F  
第一部：式典 (ネパール人プロの音楽演奏あり)  
第二部：懇親会

### 交通のご案内



●電車でのご利用の場合●  
JR町田駅ターミナル口隣接  
小田急町田駅西口徒歩5分

●車でのご利用の場合●  
国道16号より:谷口陸橋下經由町田駅方面へ  
町田街道・成瀬街道より:三塚交差点經由町田駅方面へ



### 大石一馬フォトギャラリー「カマル」をオープンして 和田泰子

カマルがオープンして、早くも6ヶ月が経ちました。もうそんなに経ってしまったかとビックリします。毎月、半月のオープンなので、よけい早く感じるのかもしれませんが。

弟の遺した沢山の写真を何とか皆様に見ていただきたい、その思いだけで始めたギャラリーでしたが、この6ヶ月の間に思ってもみなかった様々な出会い、体験がありました。

一馬の写真を心から気に入ってくださり、それに引き寄せられるかのように繋がっていく人の輪。またカマルの空間が好きと、毎月1時間半以上もかけて、訪ねて下さる方。楽しい俳句談義、また本の紹介をして下さる方。昨年まで、お会いしたこともなかった方々と知り合い、親しくおしゃべりし、自分がこれまで接してこなかった様々なこととお聞きし、新鮮な驚きがあります。

カマルでは、ゆったりした時間が流れていると言われることが良くあります。写真を眺めて、ゆっくりくつろいでいただけているのでしたら、何よりうれしいことです。

初めはミカの会の方、友人知人の方しかご案内できなかったのですが、来て下さった方のクチコミで、またその後、雑誌「山と溪谷」、ショッパー、多摩てばこネット、朝日新聞富山版等で記事を掲載して下さり、少しずつ人の輪が広がってきています。先日、ついでは言え、熊本からカマルを訪ねてくださったご夫婦の方があって、感激しました。ほんとうに有難く、感謝する毎日です。

7月いっぱい、30点余りのネパールヒマラヤを展示しておりますが、8月から一部模様替えして、南米の大自然を特集する予定です。散歩の折などお時間がありましたら、どうぞお立ち寄り下さい。毎月15日から月末まで開館(水曜定休)です。この度、未熟ながらブログも始めました。こちらも、お暇な時に覗いてみてください。

(アドレス: [kamal.exblog.jp/](http://kamal.exblog.jp/))



## 第10次「ネパール教育支援の旅」参加者募集

事務局長 大谷 安宏

今年はネパール・ミカの会創立10周年また日本・ネパール国交樹立50周年であり、且つカトマンドゥ日本語学院創立41周年(昨年40周年が政情不安により延期)に当たります。

そこで第10次ネパール教育支援の旅を計画しました。当会としてルンビニ地区に於いて記念イベントの開催、またカトマンドゥでの日本語学院主催式典やジャパンウィーク in ネパールのイベントに参加を予定しています。ネパール・ミカの会の10年間の成果を確認し、子供たちの輝く瞳に出会い、現地の人々との交流の旅に出掛けませんか？

### 第10次「ネパール教育支援の旅」

期 間 2006年11月16日(木)～11月27日(月)  
12日間  
(第10次ネパール教育支援の旅スケジュール参照)

募集人員 定員 17名

費 用 一人当たり 概算 230,000円

内訳: 成田⇄バンコク⇄カトマンドゥ 130,000円  
現地旅費・滞在費 100,000円  
ビザ取得・海外傷害保険費用含まず

申込期限 7月29日(土)  
事務局まで 和田 TEL: 042-791-0148  
大谷 TEL: 042-726-1762

### 4月15日(土)ネパール・ミカの会移動例会



お茶を頂きながらのちょっと贅沢な移動例会。年に一度くらいは気分転換にもよろしいようで！

例会終了後は加藤副理事長が幹事長を務める日本大学校友会町田桜門会公開イベント・岡本さんのネパール舞踊に出席、約1時間幻想的で荘厳な時間を過ごす事が出来ました。

尚、校友会の会員の皆様向けにバザーを開催、予想以上の売り上げをあげる事が出来ました。

## ネパール尼僧 アニ・チョイング・ドルマ Ani Choying Dolma

2006. 5 / 9 Tue **ライブコンサート in 築田寺**

開 演: 午後7時 6時よりヤキソバ、飲み物あり(有料)

入場料: 2000円  
会 場: 築田寺



### profile

1971年チベット系ネパール人としてカトマンズに生まれる。尼僧であり、仏教の詠賛歌そしてヒンズー教の真言(マントラ)を歌うアーティストでもある。

近年ネパールにて圧倒的な支持を得ている人気歌手である彼女は、北アメリカやヨーロッパの広範囲をまわるツアー活動を現在も開催中で、仏教の詠賛歌を歌う

シンガーとして国際的にも高い評価を得ている。

彼女のアーティスト活動での収益は、尼僧への福祉事業へ注がれ、2000年ネパールに尼僧のための「アレ・タラ・スクール」を創設。

第10次 (2006年度) ネパール教育支援の旅スケジュール

日	月日	都市名	時刻	スケジュール
1	11/16 (木)	東京(成田) バンコク	10:45 15:30	町田～成田～バンコク  <アジアエアポートH泊>
2	11/17 (金)	バンコク カトマンドゥ	10:30 12:35	バンコク～カトマンドゥ  <ヴァイシャリH泊>
3	11/18 (土)	カトマンドゥ		カトマンドゥ日本語学院記念式典 会食パーティー  <ヴァイシャリH泊>
4	11/19 (日)	カトマンドゥ ルンビニ		日本語学院弁論大会 カトマンドゥ～バイラワ～ルンビニ  <法華H泊>
5	11/20 (月)	ルンビニ		記念式典/運動会準備 シリ・グルワニマイ視察  <法華H泊>
6	11/21 (火)	ルンビニ		記念式典・運動会  <法華H泊>
7	11/22 (水)	ルンビニ ドリユケル		ルンビニ～バイラワ～カトマンドゥ～ドリユケル  <マウンテン・リゾート泊>
8	11/23 (木)	ドリユケル カトマンドゥ		ドリユケル～カトマンドゥ パアドマ・カニヤ女子校 カトマンドゥ日本語学院 <ヴァイシャリH泊>
9	11/24 (金)	カトマンドゥ		カトマンドゥ・パタン観光 販売品仕入れ  <ヴァイシャリH泊>
10	11/25 (土)	カトマンドゥ		JAPAN IN NEPAL '06 公演鑑賞 日ネ国交樹立50周年記念協力会合同パーティー <ヴァイシャリH泊>
11	11/26 (日)	カトマンドゥ バンコク	13:40 23:10	カトマンドゥ～バンコク～
12	11/27 (月)	東京(成田)	07:10	～成田～町田

## 橋本高校「国際理解講座」の報告

佐藤 富美子

橋本高校から国際理解講座の授業担当依頼がミカの会にあり、大谷、青沼、佐藤、それにカメラマン中野さんとともに高校を訪れ、授業を一時間行ってきました。数年前からミカの会も「国際理解」や「総合学習」などの授業を担当するようになっていましたが、私は今回初めての参加です。

今回は残念ながら一時間だけという短い時間ではありましたが、その準備から授業後のフォローまで細々と対応している会の皆さんの「働き」と「協力」には本当に頭が下がりました。簡単ではありますが、今回の橋本高校「国際理解講座」について、ご報告したいと思います。

### <準備>

6月9日、PM4:00から相模原国際ラウンジにて橋本高校と打合せがあり、青沼氏と大谷氏が参加。学校からの要望を聞くとともに、大谷さんから授業内容案の提示。

6月12日、大谷、青沼、和田、佐藤の4名、町田にて当日使用する資料や発表担当などについて事前の打ち合わせを行いました。

### <当日>

6月19日、橋本駅11時に佐藤、青沼、大谷待ち合わせをし、車で学校に向かいました。私は15分程前に橋本駅に到着し、公衆トイレでサリーに着替え大谷、青沼両氏の到着を待ちました。人通りはそんなに多くなかったものの、サリーはやはり目立つようで注目しきりでした。青沼、大谷両氏と合流し学校に到着すると、校門入り口のところで先生が待っていてくれました。中野さんとも合流。先生に案内され広い校内を移動。本当に広い校内で、大谷さんと「使っていない教室を使いたいねえ・・・」なんて話をしました。

そして、早速中野さんがビデオカメラのセッティング。今回はミカの会で購入したビデオカメラのテストでもありました。スクリーンを教壇の前に立て、プロジェクターとPCのセッティング。その手順たるや手慣れたものでした。



授業は11時50分～約1時間。スクリーンにパワーポイントのスライドを写しながらの進行でした。そのスライドはネパールの概要からネパールの識字率、ミカの会の活動や現地の写真などをふんだんに盛り込まれていた。こんな資料を作ってくれていたのか！と感心していると、さらに生徒達への配布資料も用意しており、その準備の周到さには舌を巻くばかりです。

まず、大谷さんからネパールについて、ミカの会やその活動についての話があり、次に青沼さんから支援対象校の生徒数推移等、そして私からはネパールの教育制度について話をしました。生徒達はスクリーンに映し出された写真や資料をじっと見つめたり、一生懸命メモを取ったりしながら聞いていました。質疑応答では支援対象校などはマオイストの攻撃の対象にならなかったのかなどの質問が出されました。

最後の最後に大谷さんから生徒達にはバザーで売る商品のデザインを考えてもらうという恒例の(?)宿題が出されました。夏休みの宿題として先生にも念押ししておきました。どんなデザインが出てくるか楽しみです。授業は一時間ととても短く、駆け足で終わった感じがしました。しかし、授業の時は静かでおとなしかった生徒達ですが、授業が終わると私たちの近くにわらわらと集まっていろいろ話をしてくれました。

そして実は生徒達(特に女の子)が国際協力に非常に興味を持っていて、国際交流委員をやっていること、文化祭でミカの会に関連した何かをやりたいという話がありました。ほんの数分の間に「文化祭でミカの会の民芸品を販売する」というところまで話が進みました。残念ながら時間がなく詳しい話までは出来ませんでしたが、後日、先生を通じて大谷さんに文化祭でネパールの民芸品の販売、パネル(写真)の展示などをやりたいのという連絡が入りました。

この会報が発送される頃、橋本高校の先生、生徒と詳しい話し合いを行う予定です。この一時間の授業から「次」が始まりそうです。次回の会報でその続きが報告できるといいのですが・・・

### <感想>

この一時間の授業を終えて感じたことが2つあります。まず一つは「伝えること」の難しさ。時間が短かったということもあるかもしれないけれど、写真や資料だけでは伝えきれないミカの会の「思い」を伝えるのはなかなか難しい。「共感してもらう」ことのほんの入り口である「興味をもってもらう」ことのきっかけ作りが出来れば上等なのかもしれません。その「興味」をきっかけにしてミカの会やネパールのこと、途上国のことにもっともっと興味を持ってもらえたらいいなあと思いました。

もう一つは、会員の皆さんの「働き」と「協力」のすばらしさ。そしてそれは一人一人、それぞれの「思い」が繋がった結果なのだとことを実感しました。青沼さんはネパールの教育制度について日頃からコツコツ情報収集。大谷さんはコツコツとミカの会の資料作り。中野さんは仕事を抜けて、お昼もそこに車で職場にトンボ帰り。加藤さんは忙しい合間を縫ってビデオを編集、DVD作成。私にとっては、そんな一人一人、それぞれの思いを実感できた貴重な体験となりました。



## 楽しかった箱根の旅

中野 千恵子

ラマさんとの旅が箱根と決まった時、私は2年前の箱根の旅を思い出してしまいました。

2日間とも雨、芦ノ湖はまっしろのガス。ロープウェイは風の為、運休・・・・・・・・

今年は？

今年5月28日 予報では、東京は晴れて27度Cになるとの事なのに雨です。

小雨の中、町田駅に8時40分集合。切符と昼食のお弁当を配り、9時発のロマンスカーに乗車しました。

指定席が先頭車両の1両目だったのは、ラッキーでした。

展望席も空いていたので、ラマさんは前方に座り、楽しんでいましたようです。



箱根湯本から強羅までは雨の為、生き生きした緑の綺麗な山の中の登山電車です。

強羅からのケーブルカーでは線路際に大きな石楠花の花をつけた木々があり、箱根に来て、少し、ほっとしました。

大涌谷では、風が強く、ガスも出ていたので、予定していた散策は中止。桃源台まで幻想的で真っ白なガスの中をロープウェイで下りました。

雨も小雨にはなっているけど、昼食は外では食べられないので、仙石原の湿生花園の東屋まで我慢です。「おながすいたなあ」と、あちこちから聞こえてくる様です。

湿生花園で、待ちに待ったお昼を食べてから散策。憧れていた青いケシは薄紫や白いケシもあり驚きです。コマクサもピンクだけではなく白花もあり、これにも驚きです。

園の木道を歩くと、ニッコウキスゲ、ヒメサユリ、アヤメ、クロユリ、クリンソウ等いろいろな花が生き生きと咲いていて、満足できる散策を味わえました。

今日の宿 ヴェルデの森では、時間も早かったので、皆、それぞれ部屋に入り、ホテルのお風呂に入ったり、ユネッサンに入ったり、のんびり過ごしました。

夕食は同じ一角にある、よし鳥の焼き鳥コースです。とても美味しく、皆さんも残すこともなく大満足。又、食べに行きたい所になりました。

翌日は天気も回復し、予定のある方々と別れ、9名でまずは、ネパール展を開催している芦の湯フラワーセンター見学。

ベコニア、ラン、熱帯観葉植物、咲いていて楽しめました。ネパールのコーナーでは、総会に来賓で来てくださった日ネ協会の伊藤さんの写っている写真もありました。ネパールの写真ではラマさんにいろいろ教えて頂き、実際に行ってみたくて楽しかったです。

芦ノ湖では船に乗り、40分間遊覧。下船後、箱根関所跡見学。今をさかのぼること360年あまりに設けられ、入鉄砲に出女をきびしく取り締まった箱根関所です。現在に生きていてよかったとつくづく思いました。



その余韻を感じながら、旧東海道杉並木を歩き、そのまま、東海道石畳ハイク。こもれびの緑の木々の中 鳥の声を聞きながら、滑りそうな道を慎重に歩き始めました。



昔の人はわらじだったので、苔むした道でも大丈夫だったのでしょうか？ 山下さんが落ちていた木で、杖を作っていました。甘酒茶屋で、休憩。おでん、おもちを食べてから、畑宿までハイクする人とバスに乗って行く人に別れました。

その後、畑宿で落ち合い、湯本まで、一緒にバスに乗り込みました。湯本で、お蕎麦昼食を戴き、まだ、時間もあつたので、駅付近のかっぱ天国の足湯に皆で浸かりました。

湯はとても熱く、足はまっかっか。

でも、とても気持ち良く200円で満足し、箱根をあとにしました。

今まで、何回も箱根に遊びに来ていたのですが、初めての湿生花園、東海道ハイク等、箱根を楽しむ事が出来ました。

また、機会があったら、皆と遊びに来たいなあ・・・・。

## 2006年 ネパール・ミカの会行事スケジュール

\* 定例会は毎月第3土曜日3時より築田寺こもれび堂にて開催します。

開催日	行 事 名	準 備 項 目	責 任 者
7 / 15	会報夏号発行	原稿収集、レイアウト、校正、印刷、製本、発送	広報担当理事
8 / 27	創立10周年記念式典・懇親会	会場手配、企画、講師・イベント手配、進行	事業担当理事
9 / 3	栄通りフェスタ	会場手配、企画、搬入出、収支報告	〃
9/15～16	橋本高校文化祭	ネパール民芸品委託販売・広報事業	事務局
10 / 7・8	まちだカーニバル大道芸	出店申込、企画、搬入出、収支報告	事業担当理事
10 /	チャリティーボウリング大会	企画、搬入出、収支報告	〃
10 /	中間調査派遣	調査項目、旅程立案手配、	事務局
10 /	町田ボランティアセンターバザー	企画、搬入出、収支報告	〃
10 / 22	さがみはら国際交流フェスタ	出店申込、企画、搬入出、収支報告	〃
10 /	会報秋号発行	原稿収集、レイアウト、校正、印刷、製本、発送	広報担当理事
11 / 4・5	職業能力開発総合大学校バザー	出店申込、企画、搬入出、収支報告	事業担当理事
11 / 16～27	第10次教育支援の旅	記念事業企画、参加募集、旅程立案手配、進行	事務局
11 / 18・19	横浜国際フェスタ	出店申込、企画、搬入出、収支報告	事業担当理事
11 / 4	まちだ夢広場	〃 〃 〃 〃	〃
12 /	忘年会	会場手配、開催通知、運営	事務局

～～ 目白押しにイベントが続きます会員の皆さんの参加をお待ちします～～

創立10周年記念式典・懇親会を始め、秋の各地でのイベントが目白押しに続きます。ネパール民芸品、焼きそばなどの販売による収益はネパール教育支援資金の大きなウエイトを占めています。会員の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

### 2006年度新入会員紹介

#### 正会員

氏名	田島	小夜里	5/2	入会
氏名	加藤	宏 幸	5/21	入会
氏名	清水	愛 子	5/24	入会

#### 賛助会員

氏名	柿沢	美代子	6/13	入会
----	----	-----	------	----

これから色々なイベントやバザー例会等と一緒に楽しく活動して参りましょう。どうぞ宜しくお願い致します。

## 民芸品在庫管理の想い

齋藤 孝

ネパール・ミカの会に入会して、最初に興味を引かれたのはバザーでの民芸品販売でした。民芸品を販売して学校建設資金を生み出すことに関心を抱き、私が商店を営んでいた際作成した在庫管理システムが生かせる良い機会と思い取り組むことになりました。

一般的には、利益は売上金から仕入額を引いた数字が利益と思われていますが、それは利益と呼ばずに粗利益と呼ばれています。その粗利益から費用を差し引いた数値が利益と呼ばれています。利益を上げる為には安く仕入れて高く販売するだけでなく、可能な限り在庫高を低く抑えることも重要となってきました。いかに売れるものに在庫を圧縮することが課題となります。

このことを商品回転率と呼び、売上高÷平均在庫で指標が出てきます。「粗利益率」「商品回転率」のバランスを見て出てくる係数が「交差主義比率」でこれが重要な指数となります。計算は「粗利益率」×「商品回転率」で指数は目標 200 ポイントと考えます。2つのさくらまつりバザー終了時点での交差主義比率は 37.8 ポイントとなっていて 200 ポイントには程遠い数値となっていますが、上げる手段は在庫の圧縮が今のところ最重要課題です。売れ筋の在庫は全く無くなっていますが、多くある在庫は殆ど売れていません。

現在の在庫は約 30 万円ありますが、そのほとんどが稼働していません。「80 = 20 の法則」では全体の売上で 80% は 20% のアイテムが貢献しているとのこと。

来年 3 月末までに実績のデータを入力し年間実績から、翌年計画を図り収益を上げる為に徹底的に管理を行う必要があります。ただ、効率だけで進めていくと品揃えはつまらなくなってしまうので、在庫内容は「売れる商品」「売る商品」「見せる商品」に分けバランスを考えましょう。

「売れる商品」は全体で 80% の額を仕入れ「売る商品」は 15% 「見せる商品」は 5% が妥当な額と思います。

また商品＝現金ということも頭に入れてください。

ネパールで商品調達も売れる商品は客観的に見て、商品は 1 年後には完売していると予測した数量を仕入れると販売が増加するでしょう。

セブンイレブンが急成長した要因が、これらの管理を徹底的に実行したとのこと。

ボランティアの会が、これらのことを行うというのは難しいと思いますが、ネパールの産業・特産品の紹介をして販売し、その利益から学校建設という考えを理念としたいと思います。来年 3 月末には年間実績のデータがありますが、その数値から多方面に分析を行い、ネパール・ミカの会での在庫管理システムの構築を楽しみにしています。その為にも是非皆様のご理解とご協力が必要となりますので、よろしくお願いします。

## ネパール再訪

坂 育夫

十年目を迎えるミカの会の 2006 年 3 月に、高校の英語教師を定年退職した長兄と、ネパールの古い友人クリシュナ、山岸夫妻とタイで合流しネパールに入った。

4 年ぶりのカトマンドゥは銃を持った軍人だらけであった。ポカラにバスでむかったが国王が滞在中とのこともあり、一層どこもかしこも軍人だらけで、対岸の日本山のお寺も兵舎にされていたし、湖面にロープが張られ、中に入り込むと、どこからか警備のボートが迫って来て追い出された。

今回の目的は、ミカの会のおかげで、ボランティアや NGO のあり方を学ぶうちに、自分自身でのネパール支援の計画が芽生え、中途半端になっていたハリパラ村（ポカラから約 30km ほどタンセンより）のボーディングスクール（私学）に行く事だった。

現状の不安から山岸さんらに止められたが、ノン気な小生は兄とタクシーでサンジャに向った。途中学校によると、懐かしい地主の婆さんや息子夫婦が出迎えてくれ、翌日の約束をして、旧知の友人ニリマル氏のホテルに行く。（サンジャ市内）ニルマル氏も歓迎し、新しく出来た室内にトイレのある部屋を用意してくれた。サンジャに 2 泊し校長先生方と学校の現状を知らされた。以前は学校名もはっきりしなかったが、現在は 22 名共同経営で、なんとか名前も決めて、学校を支えているとの事であった。

そして今後はお互いに都合の良い誤解を生じないようにと、文章で確認しながら、出来る範囲の援助を決めて来年の再訪を約束した。

2 週間という短期間であったが、兄とはほぼ毎日が喧嘩の連続であったが、それで終わりにならなかつたのは肉親の間だからだったと思う。

日本食しか食べれないと言う兄のお陰でポカラでもパタンでも、カトマンドゥでも日本料理店に詳しくなって、同時にあの難しい時期にネパールに留まっている日本人からも貴重な話が聞けた。

NGO とは、ボランティアとは、この問題に頭を痛めていた昨今であるが、今回の旅の御陰で完治していなかった体調も回復し、自分のネパールのかかわりのあり方が決められたような旅でもあった。



### 【編集後記】

今年は早 10 周年を迎える。どんな事もまずは 10 年がんばってみる。大切な事はこれからの 10 年。常に新鮮でアクティブでいられるか？ これからの課題でしょう。夏を迎えるこの季節。どうも世界は狂い始めています。北朝鮮のミサイル、拉致、イスラエルの戦渦拡大、東南アジア諸国の内戦と平和はますます手を離れていきます。強大国による原油の支配と独占。日銀の総裁ですらモラル無し。ネパールでは一連の運動の結果、好ましい状況に進み始めるはずですが、マオイストの武力放棄などまだまだ未解決な問題が山積みです。日本ネパール国交 50 周年の今年様々なイベントが予定されています。興味を持って出かけてみませんか？ 思うにどうも権力者は自分より優秀な側近や、部下を嫌うようです。左遷なら分かりますが、少し前だと殺害や拘束。臆病者で無知、そして良いとこ取り。何より怖いのは自分が正しいと信じている事。S.K